

1890(明治23)年〜1891(明治24)年

上海新報

復刻版 全2巻

上海における 最初の日本語新聞を 復刻!

（一） 日 曜 水 號 壹 報 新 海 上 日 五 月 六

上海新報

第壹號

（每週一圓發售）
明治二十三年五月五日
電話七三六九、七三六八
光緒二十六年四月十八日
民國十二年五月九日

*上海新聞

我が上海新聞發行ノ趣意ハ前新聞ノ廣告ト豫メ記
送セシ所ヲ基本ニ於テ採擇セシ所アリシニ關シテ
日第一號ヲ發見スルニ際シ更ニ一言セザルヲ得
ルナリ我日本國維新以降外國トノ交通貿易漸盛
致シ方ノ最モ密接ノ關係ヲ有シ最モ要切ノ注意
ヲ要スルハ支那ナリ我日本ノ支那ニ於テ國情ハ啓
蒙タリ民人ハ開化タリ同文ノ國ニシテ交通既ニ久
シク從我ノ信使歐米各通商港ノ客ト何ノ同キヲ
シテ隨テ相互ノ間ニ利害ヲ感スルノ亦歐米各國ヨリ
甚シキモアアリ歐米各國ノ開港ナリ支那ノ開港ナ
リ開港水ヲ失ハスル時ハ其災禍チニ我東亞及ブシ
隣村ノ災厄ハ勿留シテ之ヲ救フベキ我東亞ノ患
ズシテナリ開港以來アレバ我東亞ノ各通商港
開港ノ必ズ昂ス陸路ノ吉田ニ對シテ陸路ノ開港
失フベカラズト雖陸路ノ對シテ比シテ陸路
親親厚薄ノ差ナクシテアラズ歐米各國ノ我日本
ノ關係ニ於テ亦須ラ注シテ注意スルニ但支那ニ至
テハ其關係最モ深密ニシテ支那ニ於テ國情ノ開
蒙政教ノ沿革ハ勿論内政外政地輿物産ノ與ニ隨
業ノ消長萬般ノ事トシテ我日本ニ關係ヲ與ヘ
ザルナシ支那人ノ意色歐我日本ノ客トナリ支那
人ノ意色歐我日本ノ利トナラナリ
總テ支那ノ天地ニ生ズル變動ノ細大トナク輕重ト
ナク直チニ我日本ニ影響ヲ及ボシ水ヲ其源流ヲ留

ムルノ歐米各國ノ一大事變ノ影響漸ク我日本ノ貿
易市場ニ波及シテ忽チニ消滅スルノ比ニアラズ故
ニ我日本ハ常ニ最モ深切ニ支那ノ形勢ニ注意シ豫
メ其影響ニ應ズベキ備ヘテ爲ザルベカラズ
日支ノ關係既ニ此ノ如ク密接ニシテ且ツ廣大ナリ
然ルニ我日本ハ專ラ彼ノ開港ナルニ歐米各國ノ
留神注目シテ學生商賈ノ交通頻數ニシテ其政教
ノ諮詢シ其術ヲ究シ其情況ヲ知悉センヲ要
シ商務進ニ進テ一ナリ有様ナルモ獨リ其開港ナ
ル支那ノ事ニ至テハ之ヲ察スルモノ、如ク若
干ノ有様者ヲ除クノ外ハ未ダ會テ津洋問題ノ必要
者アルヤ吾等慨然ニ堪ヘザル所ナリ
茲セテ八人ノ徒ヲニ政治ノ一部ニ備シテ國家ノ大
本タル實業ヲ要知スルノ試ニ着目支那ニ干
渉ノ開港場ノ幅比スル所ノ大國高橋ト港口ニ輕港
スル所ノ強國風船トハ皆通商貿易ノ爲メ歐米各
國ヨリ歐米各通商港ニ波瀾ヲ來ルニ非ザル
ハナシ然リ而シテ我日本ノ如ク僅カ四半時間
シテ遠シ得ベキ隣接ノ地ニ在リナガラ我日本ノ物
産ニシテ支那ニ輸送販賣スルモノハ多クハ皆日本
ニ在リ而シテ支那人ノ手ヲ經由シタルモノニシテ
我日本ノ商人ニシテ其通商貿易ニ關係スルモノ
ノ益々トナリ且ツ知テタルハ昔嘗て嘆息ニ堪ヘザ
ル所ナリ
支那ハ一茶葉水ヲ隔シテ隣國ノ國ニシテ交通甚
容易ナル上ニ其國情ノ廣大ナル關係置州ノ二島
ヲ併セテ全國ノ面積三十七萬三千四百餘方里ニシ

テ我日本ヨリ大ナル十餘倍餘民口ノ多クナラ
約三億六千四百七十餘萬ナリ云フ去レテ我日本
全國ノ物産ヲ舉ゲテ之ヲ支那ニ供給スルモノ皆海
一瀉原野ニ一振ノ粟粒ヲ散セシ如ク支那内地ニ於
テ其輸入物品ノ所在ヲ見出スト云フト云フ過
言ニ非ザルナリ之ヲ簡要スルノ地此ノ如ク廢タ
シ消費スル人此ノ如ク多ク且ツ上下六次之射
ヲ道ニ散ナリ殊ニ我日本ニ往古ヨリ交通スル同
文同族ノ國ナルヲ以テ歐米各國ノ人ニ對スルヨリ
多ク親愛ノ情深キニ由リ我日本商人ハ歐米各國
商人ヲ五年ノ際以テ滿洲ヲ以テ滿洲得ル所ノ信用二年
乃至三年ニシテ得ルモノ非ズ故ニ通商進歩
得テ商品支那ノ嗜好ニ投リ供給時ヲ誤ラズ賣買
其業ヲ持セバ我日本商業ノ華客ハ支那ノ國ニシテ
餘リアリ何ヲ苦シテ遠シ之ヲ歐米各國ノ市場ニ求
ムン隣國ノ金庫ハ充テリ開港ナリ我日本ノ行ヲ振取スル
待ト何ヲ苦シテ我財源ヲ遠ク離ルニ驚ラズ案
論スルガ如クシテ我日本ノ通商貿易ヲ營ムベキ地
ハ支那ヲ擇ベ他ニ求ムベカラザルナリ否ナリ我日
本ノ支那ヲ擇ベハ專ラ支那ニ向ツテ營業ムベキナリ其
行ハ易クシテ其利ノ多ク大ニ觀ルヨリ明ナリ
然ルニ我日本ノ商業者ニシテ支那ト通商スルニ意
ヲ用ニシテ我日本ノ工業者ニシテ製造支那ニ供給スル
通商スルモノハ何ゾヤ支那ニ從來我日本ヨリ支那
販賣スルモノハ三ノ商賣ヲ除クノ外ハ大抵損失ヲ被リ
一敗地ニシテ資本ヲ消耗シ赤手歸朝ノ途ニ上ル
モノ多ク又從來我日本ヨリ支那ニ輸送スル貨物
中ニハ往々全數賤價ヲ得ルモノ甚ク數月一載シテ元
費ヲ償還シ得難クニ至ルモノアルモノアリ以テ我
日本ノ物産ニシテ三ノ種類ヲ除クノ外ハ到底支
那ニ向テ販賣シ得ル能ハスト爲シ際際因循進退ニ通
商ノ道ヲ阻害シ國利ヲ廢絶シテ今日ノ狀

體裁 A4判・上製・約800頁（解説・總目次付き）
 定價 本体揃価格 48,000円＋税
 ISBN978-4-8350-6986-9
 解説 高綱博文（日本大学教授）
 推薦 陳祖恩（上海・東華大学教授）
 原本提供 東京大学大学院法政学研究所附属
 明治新聞雑誌文庫
 刊行 2011年7月、一括刊行

復刻の辞

『上海新報』は、一八九〇（明治二三）年六月五日より一八九一（明治二四）年五月二九日まで全五二号刊行された、上海における最初の日本語新聞であり、日清戦争（一八九四〜九五年）以前の上海における日本人が発刊した出版物として、その代表的なものである。

発行元は修文書館、長崎出身の松野平三郎が週刊紙として創刊した。三井物産が後援したため、その創刊目的も「日清間の通商貿易を奨励誘導する」とある。上海の商況や物価、清国内各都市の貿易額等の情報が詳細に伝えられた。

また、中国人の衣服や飲食等の風俗、上海租界での日本人の様子、小説、英・日・中三国対照会話、投書等の記事があり、総合紙の役割もはたした。

『上海新報』は、今回原本のご提供をいただいた東京大学大学院法学政治学研究科附属明治新聞雑誌文庫の他では、今日国内で確認されず大変貴重であり、近代日中関係史・経済史・政治史・社会史・文化史の第一級資料である。

不二出版

推薦文

陳祖恩（上海・東華大学教授）

『上海新報』は上海における最初の日本語新聞であり、日清戦争前に日本人が上海で発行した代表的な出版物である。現物は東京大学大学院法学政治学研究科附属明治新聞雑誌文庫に所蔵されている。いま日本大学高綱博文教授の解説を付け、日本の不二出版株式会社より復刻出版することは、日中新聞史と上海日本人居留民史研究に関する非常に貴重な史料を読者に提供するものである。

新聞史上における特別な地位以外に、『上海新報』は左記に述べられるような注目すべき歴史的価値を有するものである。

一．『上海新報』は長崎出身の松野平三郎が創業した上海修文書館が編纂したものである。修文書館は日本の印刷技術の進歩に伴い上海に進出したものであり、最初は活字製版と印刷を本業としており、それに加えて新聞業に乗り出し、日本印刷業の複合的文化作用を現している。

二．『上海新報』は最も早くに上海に進出した日本の大商社三井物産が後援しており、その時の上海支店長は対中貿易の「先駆者」と称された上田安三郎であった。このため、『上海新報』には「新聞発刊によって日中貿易を発展させるといふ夢がある」と書いており、これは日本の大商社と新聞業が「貿易立国」の理想の実践のために有機的に結合したモデルである。

三．『上海新報』は上海日本人居留民社会に精神的糧として作用し、新聞メディアの神聖な使命感をもって「一致団結、体面維持」の文明覚醒運動中における指導的役割を發揮した。

内容見本

(縮小しています)

(一十) 日曜水 號壹第報新海上 日五月六

Table of market prices for various commodities including silk, cotton, and other goods, organized by category like '上海物價' and '雜貨'.

上海新聞目次

Table of contents for the Shanghai News section, listing various news items and their page numbers.

日曜水 號壹第報新海上 日五月六 (四十一)

Table titled '明治二十二年清國貿易元價稅銀概覽表' (Summary of trade values and taxes in China, 1913), listing various goods and their respective values and taxes.

日曜水 號壹第報新海上 日五月六 (八)

Advertisement for 'The Great East' (大東) featuring an illustration of a person on a horse and a large building. The text discusses trade and economic matters.